

## 日中コベネフィット・アプローチ協力

- 喫緊の国内課題である環境改善と温暖化対策の双方を同時に実現する「コベネフィット・アプローチ」は、中国においても重要な政策オプション。
- 日中両環境大臣間での「日本国環境省及び中華人民共和国国家環境保護総局によるコベネフィット研究とモデル事業の協力実施に関する意向書（平成19年12月）」に基づき協力を実施中。

### 【意向書の概要】

- ・局長級のワーキングチームを設立（日本側：水・大気環境局長）
- ・一都市を対象に、汚染物質排出削減方法のモデル事業を実施

### 【実施状況】

四川省攀枝江市を対象として、下記3つの研究・事業を検討・実施中

- ①環境汚染物質削減計画に係るコベネフィット効果の評価研究
- ②攀枝江市における人材育成研修
- ③攀枝花鋼鉄におけるコベネフィット・プロジェクト（検討中）

パンジホア  
【攀枝花市】



### 【COP15サイドイベントでの成果発表】

#### コベネフィット効果の評価に関する日中共同研究

○攀枝江市の汚染物質削減五カ年計画（2006-2010）に位置づけられた29事業を実施した場合の温室効果ガスの排出削減効果を試算

※大気汚染防止分野を中心に構造調整（汚染排出量の多い既存施設の廃止）による削減効果を試算。他分野や管理方法の変更等に伴う効果については今後精査。

#### 環境汚染管理

汚染物質排出削減  
SO<sub>2</sub> の削減量  
55,800t/年  
（同市の年間排出量  
約53%削減）



#### 気候変動

温室効果ガス排出削減  
CO<sub>2</sub> の削減量  
2,104,000t/年  
（同市の年間排出量  
約8%削減）